

政策対話（総務部）の概要

1 テーマ

県有財産の有効活用について

2 実施概要

(1) 日時

令和元年6月9日(日) 午後1時～午後4時

(2) 場所

環境保全研究所（飯綱庁舎）

(3) 参加者

16名（地元自治会、観光協会職員、関心のある一般県民）

県側：総務部長、財産活用課長、コンプライアンス・行政経営課長、環境政策課長、
環境保全研究所長

※県民との対話前に環境保全研究所及び旧自治研修所を現地見学

3 寄せられた意見（*当日意見 ・アンケート意見）

旧自治研修所について	利 活 用 ・ 保 存	<ul style="list-style-type: none"> *残してほしい。壊してしまうことは簡単だが、守っていくことが大切ではないか。 *他の移築した旧県庁舎は引受者が改修できないという事情があり既に解体されたが、旧自治研修所(旧県庁舎)はまだ存在し、歴史的価値もある。 *できれば耐震と改修をして活用してほしい。 *民俗館のようなものとして整備し、公園や広域観光拠点等とセットにして観光の名所として売り出してはどうか。 *大正時代を感じさせるような施設（長野県の歴史、飯綱地区の文化、ホテル、レストランなどを集めた施設）としてはどうか。 *市運営の大峰城・チョウと自然の博物館（閉館中）や戸隠の化石博物館等を合併した博物館としてはどうか。 *茅井地区（地元）には公民館がないので、公民館として利用したい。 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の港の見える丘公園の洋館のようなイメージで活用してはどうか。 ・一般から公募してレストラン（特にジビエを活用したもの）として活用してはどうか。
	廃 止	<ul style="list-style-type: none"> *改修費が必要ということを見ると、歴史的価値があるとしても解体すべきでは。 *民間等で使いたいという事業者がいれば、売却などを検討してはどうか。 *年間数回の映画・写真の撮影等の利用頻度では維持していく意味がないのでは。
	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> *今回の対話を機に、今後も地元の皆さんと丁寧に話し合うことが大切。 *地元自治会が使用したいというのであれば、地元は無償あるいは限りなく無料に近い価格で譲渡したらよいのでは。 *ドラマや映画の撮影として利用する場合、使用料を徴収してはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・集会施設の整備は県の仕事ではない。 ・観光資源として活用することについても、市と地元が自らの責任も含めて考えるべき。

	建物 自 体 の 利 活 用	<p>*市民の方が講師を招いて議論や研究発表するときに会議室の確保に苦労しているとお聞きします。そういった方が土日でも環境保全研究所の2階ロビー、会議室を使えるようにしていただきたい。</p> <p>*2階のロビー部分を民間企業等と連携しカフェにはいかが（ジビエ軽食の提供など）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 研究所としての機能は大切にしながら、有料でよいので民間の方も使用できるようにご検討ください。 • 敷地の一部をエコなBBQ場にはいかが。
環境保全研究所について	研究 所 機 能 の 在 り 方	<p>*「研究フロア」と「普及啓発フロア」に区分するなど、より効果的な運営を行ってはどうか。</p> <p>*展示物の見せ方をもっと面白く、興味を引くようなものに変えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • これからの環境保全の活動拠点として、施設の内容を充実するとともに一層広くPRして環境政策を進めてほしい。 • 可能な限り県立大学等と連携して、充実した研究所としてほしい。また、常時、県民や教育機関に開放すべきではないでしょうか。
	広 報 の 在 り 方	<p>*建物の名前を変更し、県民や観光客が気軽に立ち寄り、夏休みの子供の自由研究などにもっと利用されるようにしてほしい。</p> <p>*施設案内看板がもう少し目立ってもよいと思う。あまりにも環境に配慮しているため場所が分かりにくい。</p> <p>*地域の行う自然保護活動に加わり、その成果を全国に発信してほしい。</p> <p>*目立たず、何があるかわからないので入りづらい建物のように感じる。まず外見から入りやすいようにしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年に数回だけではなく、定期的にセミナー（研究発表、環境学習会、敷地内での自然観察会）を開催してほしい。
県有財産全体について		<p>*色々な規制により、話が進まないことがある。国、県、市の管轄の考え方を柔軟にしてほしい。</p> <p>*施設の運営が赤字でも住民の気持ちに寄り添い、必要な施設は維持してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 予算やマンパワーに限られる中、必要な機能を取り上げて集中していく事が大事。 • 市の施設、県の施設等の統合も含めて考えていってもよいのではないか。